

令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立紀伊小学校
校長氏名	杉野 裕香子
作成日	令和 7年 2月 14日

1 教育目標

『心豊かに たくましく生きる 子供を 育てる』

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	* 児童及び保護者アンケートで「毎日の勉強がわかる」を90%以上にする * 「家庭学習の習慣が身についている」を70%以上にする	* 児童アンケートで「学校が楽しい」の割合が昨年度より増える * 保護者アンケートで「あいさがよくできている」を80%以上にする	* 保護者アンケートで「早寝、早起き、朝ごはん」の定着90%以上にする * 体力テストで、全国平均を上回る	* 保護者アンケートで「学校の様子をわかりやすく伝えている」を90%以上にする * 出前授業や体験活動を行い、外部講師を複数回招く
重点目標	◎基礎学力の向上を図る ◎教員の授業力の向上を図る ○家庭学習の習慣化及び充実 ○読書活動の推進	◎道徳教育・人権教育の充実 ◎自己肯定感や自尊感情が高められる取り組みの推進 ○良好な仲間づくりの形成	◎基本的な生活習慣の確立 ◎運動に親しむ基礎を育てるとともに体力向上を図る ○危機回避能力の育成	◎積極的に情報を発信する ◎地域や保護者からの提言の吸収に努め学校経営に生かす ○地域の資源活用を進める
取組の状況	◇「紀伊タイム」を活用し、基礎・基本の定着を図ると共に、児童の主体的な活動を重視する。 ◇多様な学びの場を設定し、支援体制の充実を図る。 ◇教員の授業力向上に向けた研修を実施し、授業技術の向上を目指し、全学年研究授業を行う。 ◇「家庭学習の手引き」を配布し、計画的に学習する習慣をつける。 ◇図書室の環境整備を行い、図書室の利用回数を増やす。	◇「あいさつ運動」の実施(児童会とともに) ◇幼稚園や特別支援学校との交流を行う。 ◇いじめアンケートを複数回実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。 ◇情報モラルやネット社会に潜む危険性について、学ぶ機会をもつ。 ◇平和学習や人権教育において、外部から講師を招く機会を持つ。	◇「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。 ◇休憩、昼休みは外に出て身体を動かすことを推奨する。 ◇休憩後や昼食前の丁寧な手洗いを啓発する。 ◇携帯電話・スマートフォン・SNS等の安全な利用について、指導を促進する。 ◇交通安全教室や避難訓練を計画的に行い、危機回避能力を育成する。	◇HP、各種便り等を通して学校の情報を発信する。 ◇懇談会やアンケートから学校へのニーズをとらえる。 ◇ゲストティーチャーや読み聞かせの人材を活用する。 ◇地域の自然・文化・施設を知る。 ◇地域の見守り隊の方に感謝の気持ちを伝える。
取組の成果と課題(評価)	○個に応じた支援を行い、つまづきへの早期解決に努めた。(通級指導教室やTT等) ○全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査では、全国・県平均を上回り、学力の定着が見られる。 ○研究授業及び授業力向上研修を実施し、教員の質的力が高まっている。 △家庭学習の定着は、68%と横ばいである。	○土曜参観において、すべての学級で道徳・人権に関する授業を行った。 ○児童アンケートで「学校が楽しい」が96%(低学年)・92%(高学年)だった。 ○特別支援学校との居住地交流や幼稚園との交流を行い、豊かな心の育成に努めた。 ○「友だちと仲良くしている」が98%(低学年)、96%(高学年)だった。 △人権教育講演会において、「多様性について」講演会を行い、家庭や地域への啓発活動を行ったが、参加人数は多くない。	○全校チャレンジ(5分間走)を大休憩に取り組み、体力向上につなげた。 ○携帯電話・スマートフォン・SNS等の安全な利用について、出前授業を行い、具体的な話で理解を深めることができた。 ○休憩時間の避難訓練実施により、自主的に避難する体験ができた。 △保護者アンケートで「早寝・早起き・朝ごはんが身についている」が85%と、前年度より低い。	○多様な体験活動や出前授業を実施し、実際に経験する機会を持つことができた。 ○地域ボランティアによる読み聞かせを行うことができた。 ○紀伊地区見守り隊の方々に、感謝の手紙を届けることができた。
改善方法	・基礎・基本の定着を図ると共に、主体的に課題解決に取り組み、より自分の考えを深めていけるような授業を研究する。 ・ICT機器を活用し、個別最適な学びを行っていく。 ・家庭学習の習慣が身につくよう、家庭と連携して取り組む。	・人権教育を学校・家庭・地域が連携しながら取り組んでいく。 ・児童の実態把握や保護者との連携を図りながら、いじめのない学校・学級づくりに努め、ともに育ち合う仲間づくりを行っていく。 ・一人一人を大切に、個に応じた指導をすすめる、自尊感情が高められるような取り組みを実施する。	・児童の健康促進や基礎体力向上を図るため、全校チャレンジを継続する。 ・携帯電話やSNS等の利用について、保護者も含めた啓発に努める。 ・登下校の安全確保のため、PTAや関係機関との連携を図る。	・地域や関係機関との情報共有・連携に努め、地域に開かれた学校を目指す。 ・専門性の高い方々の協力を得て、より豊かな経験の習得に努める。 ・学校の様子が分かるように、ホームページ等による情報発信に努める。

3 その他の課題

・児童アンケートでは「挨拶ができる」が、低学年で86%、高学年で70%であった。保護者アンケートでも、66%であったため、自分から進んで挨拶する児童の育成に努めていきたい。 ・ICT機器を効果的に活用して探究的な学びや協同的な学び、個別最適な学びへと授業転換するとともに、教師のICTスキルの向上に取り組み、情報活用能力に係る教育を充実させる。
